大規模荷主	1荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握				2環境に配慮している貨物輸送事業者の選定				3物流拠点の活用による輸配送の効率化				4積載率の向上による輸配送の効率化				5計画的な貨物輸送による輸配送の効率化				6その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組				7低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進				8サードパーティーロジスティクスの活用				9共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進				10その他の必要な取組			
その他の製造業	1-(1)二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出				1-(2)貨物輸送事業者と自社関連部門における情報共有及び改善に向けた取組の実施				2-(1)貨物輸送事業者に対するご酸化炭素排出量削減計画の提出確認				2-(2)貨物輸送事業者の環境配慮の確認				3物流拠点の活用による輸配送の効率化				4-(1)商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上				4-(2)運搬便の利用や共同輸配送の取組				4-(3)輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注				5-(1)発注時間及び配送時間のルール化				5-(2)道路混雑時の輸配送の見直し				5-(3)輸送車両の構内や周辺道路等における待機時間の削減のための取組				6その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組				7-(1)貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器積載車（以下、「低燃費車等」）の利用要請				7-(2)貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請				7-(3)貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施				7-(4)構内アイドリング防止のための取組				8サードパーティーロジスティクスの活用				9共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進				10その他の必要な取組			
事業者名	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置	R6	R7	R8	取組措置
セキスイハイム工業株式会社	○	○	○	輸送部門を管轄している部署が輸送会議（1回/月）で把握	○	○	○	環境管理員会を開始し、輸送業者に対し伝達教育を実施	—	—	—	—	○	○	○	輸送事業者に対し環境関連法規（自動車NOx・PM法等）に対応した車両の使用状況について定期的な報告を受けている	○	○	○	部材メーカー集の配送から、ある拠点を設け集約し、共同配送することで車両数、回数を減らしコスト削減を図っている	○	○	○	弊社のユニット工法の空間を活かし現地で使用する屋根はユニットの上に外構部材等はユニット内に積み込んで出荷することで部材車両を削減している。	○	○	○	上記2で記載した内容と同様にHs配送（共同）を行うことで他メーカー共同で配送	○	○	○	トラックの荷台のスペース等を活用し、太陽光パネル等を積載し効率化を図る	—	—	—	—